

## 「健康なかつがわ21（第二次）」計画の進捗状況

分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成27年度 健康づくり事業の主な取り組み	
がん	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	80.2	H22年	—		73.9	H29年	①発症予防 ・肝炎ウイルス検査費用の公費助成(40、45、50、55、60歳) ②がん検診受診率の向上 ・次の年齢に対して、がん検診手帳の配布と無料検診の実施 子宮頸がん検診 20歳 乳がん検診 40歳 大腸がん検診 40、45、50、55、60歳 ・5年間未受診者に対して、受診勧奨と無料検診の実施 子宮頸がん検診 30歳代の未受診者 乳がん検診 50歳代の未受診者 ・日曜日検診(4回)、土曜日検診(1回)の実施 ・がん検診と特定健康診査の同時実施 ・検診時に託児の実施 ・がん検診まつりの実施 ・国民保険加入者への受診勧奨 ③重症化予防 ・精密検査対象者に対する受診勧奨	
	②がん検診の受診率の向上								
	・胃がん(40-69歳)	男性 8.3% 女性 9.6%	H23年度	男性 8.1% 女性 9.1%	H26年度	50% (胃がん、肺がん、大腸がんは当面40%)	H29年度		
	・肺がん(40-69歳)	男性 16.6% 女性 24.8%		男性 14.8% 女性 21.1%					
	・大腸がん(40-69歳)	男性 9.7% 女性 12.4%		男性 9.6% 女性 12.6%					
	・子宮がん(20-69歳)	35.4%		31.0%					
	・乳がん(40-69歳)	39.7%		34.8%					
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底 循環器疾患	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)							①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施(生活習慣改善への継続支援) ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施 ・「地域で広める高血圧予防」として、坂下 30自治会で講座を実施 ③重症化予防 ・重度の高血圧者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め。 ・治療中断者に対し治療継続の勧め。 ・必要に応じて保健指導、栄養指導を実施	
	・脳血管疾患	男性 51.3 女性 28.0	H22年	—		男性 41.6 女性 24.7	H34年		
	・虚血性心疾患 (急性心筋梗塞)	男性 22.0 女性 8.7		—		減少			
	②高血圧の割合の減少 (140/90mmHg以上の人の割合)	男性 31.6% 女性 29.4%	H23年度	男性 26.1% 女性 19.6%	H26年度	減少	H34年度		
	③脂質異常症の減少 (LDLコレステロール160 mg/dl以上の人の割合)	男性 9.2% 女性 15.3%		男性 8.7% 女性 14.7%		男性 6.2% 女性 8.8%			
	④メタボリックシンドローム予備群・該当者の減少	予備群・該当者1,067人(20.8%)	H23年度 (法定報告)	1,084人(21.3%)	H25年度 (法定報告)	減少	H29年度		
	⑤特定健康診査・特定保健指導の実施率の向上								
	・特定健康診査の実施率	36.1%		36.3%		60%	H29年度		
・特定保健指導の終了率	51.8%		63.1%		60%				
糖尿病	①糖尿病有病者の増加の抑制 (服薬中またはHbA1c6.1%以上の人の割合)	8.9%	H23年度	8.0%	H26年度	減少	H34年度	①特定健診未受診者対策 ・訪問等による受診勧奨 ・健康推進員を対象に健診に関する知識の普及啓発 ②発症予防 ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施 ・内臓脂肪症候群該当者や予備群に対する特定保健指導の実施(生活習慣改善への継続支援) ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施。 ③重症化予防 ・血糖コントロール不良者に対する医療機関への受診勧奨及び継続受診の勧め ・治療中断者に対し治療継続の勧め。 ・治療中の方については医師の指示のもと、必要に応じて管理栄養士による栄養指導を実施	
	②治療継続者の割合の増加 (前年度 当該年度共に服薬ありと回答した人の割合)	84.0%		84.0%		現状維持			
	③血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 (HbA1c がJDS値8.0%(NGSP 値8.4%)以上の人の割合)	0.4%		0.5%		現状維持			

※現状値○が付き項目は計画策定時より改善したもの

	分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成27年度 健康づくり事業の主な取り組み
生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底	慢性腎臓病	①糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	9人	H23年	3人	H26年	減少	H34年度	①発症予防 ・妊婦健診における将来の生活習慣病ハイリスク者に対する産後フォローの実施(定期健診のすすめ) ・健診受診者の要指導者に対する生活習慣改善への支援の実施。 ・健診受診者の要指導者に対する二次検査の実施。 ②重症化予防 ・腎機能低下の原因となる糖尿病、高血圧、高尿酸等の改善のため、腎機能低下者に対する食生活改善指導や必要に応じて受診勧奨及び治療継続への支援 ・市のCKDに関する健康課題を共有し、課題解決に向けた検討を行うCKD及び糖尿病予防連絡会議の定期実施
		①適正体重を維持している人の増加(肥満(BMI25以上)、やせ(BMI18.5未満)の減少) ・20歳代女性のやせの人の割合の減少(妊娠前にやせの人の割合) ・全出生数中の低出生体重児の割合の減少 ・肥満傾向にある子どもの割合の減少(小学5年生の中等度・高等度肥満傾向児の割合) ・30～60歳代男性の肥満者の割合の減少 ・40～60歳代女性の肥満者の割合の減少 ・低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の減少	22.6%	H23年度	21.9%	H26年度	20%	H34年度	①減塩の意識付けと将来の生活習慣病予防のため3歳児健診での尿中塩分量測定と過剰摂取者へ個別栄養指導の実施 ②食育推進会議の実施 ③健康福祉まつりにて食育イベントの実施 ④食育指導者研修会の実施 ⑤学校の希望により、肥満及びやせ、血液検査において異常のあった児童・生徒及びその保護者に対して栄養・食生活改善指導を実施 ⑥特定健診結果より肥満であった方に対し、食生活習慣改善のための個別保健指導及び教室の開催(作って食べよう500kcalのまんぶくヘルシーランチ教室) ⑦低栄養を予防するために、高齢者に対する出前講座の実施 ⑧8万人のヘルスアップ 働き盛りの若い年代層への出前講座の実施 ⑨ぎふ食と健康応援店の普及啓発とミニ健康講座の実施 ⑩けんぱち弁当(ヘルシー弁当)の普及啓発 ⑪市広報、ホームページ「健康なび」及び民間の料理サイト(クックパッド)を活用し、食べて健康レシピ(野菜を使った手軽にできるメニュー)を配信
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	栄養・食生活	②朝食欠食者の減少	3歳児 4.4% 5歳児 1.6% 小学生 1.1% 中学生 5.5%	H23年度(5歳児はH24年度)	3歳児 3.4% 5歳児 0.4% 小学生 1.6% 中学生 2.3%	H26年度	0%	H34年度	
		③朝食共食者の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	5歳児 92.8% 小学生 84.9% 中学生 63.1%	H23年度	5歳児 93.5% 小学生 85.3% 中学生 62.4%	H26年度	増加傾向へ	H34年度	
身体機能の維持・向上		①運動習慣者の割合の増加							①糖尿病の発症予防を目的とした運動教室を継続実施 ②水中運動教室を継続実施 ③特定健診受診者に運動教室の勧奨 ④生涯学習スポーツ課と連携し、市民に対して運動機会の提供 ⑤地域でのイベント実施時に運動体験会を実施 ⑥出前講座で介護予防についての知識を普及 ⑦市ホームページ「健康なび」上で運動イベントの情報発信(軽スポーツ・ウォーキング大会など)
		・30～64歳	男性 29.9% 女性 23.3%	H23年度	男性 28.7% 女性 23.4%	H26年度	男性 36% 女性 33%	H34年度	
		・65歳以上	男性 46.8% 女性 45.8%		男性 46.1% 女性 44.8%		男性 58% 女性 48%		
②介護保険サービス利用者の増加の抑制	3,207人	H22年度	3761人	H26年度	4,666人	H37年度			

	分野	項目	策定時	年度	現状値	年度	目標値	年度	平成27年度 健康づくり事業の主な取り組み		
ライフステージごとの健康に関する生活習慣の改善	飲酒	①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の人の割合)	男性 12.7% 女性 6.3%	H23年度	男性 11.5% 女性 6.7%	H26年度	男性 10.0% 女性 5.0%	H34年度	①ハイリスク者へのはたらきかけ ・酒害者回復クラブ、アルコール相談の実施(月1回) ②適正飲酒の推進 ・健診受診者への個別指導、健康まつり等での普及啓発		
		②妊娠中の飲酒をなくす	4.6%		0.4%		0%				
	喫煙	①成人の喫煙率の低下	12.1%	H23年度	11.8%	H26年度	10%	H34年度	①禁煙支援の推進 ・禁煙電話相談(月1回)、個別支援(随時)、薬局での禁煙支援の推進 ②受動喫煙防止対策の推進 ・健康推進員を対象に受動喫煙に関する学習を実施 ・受動喫煙防止の啓発ポスターの掲示(ポスターは市内小中学生より募集)		
		②妊娠中の喫煙をなくす	2.1%		1.0%		0%				
	歯・口腔の健康	①歯の喪失防止		H23年度	79.3%	H26年度	80%以上	H34年度	①糖尿病発症予防教室、水中運動教室、出前講座での歯周病予防、口腔機能向上教育の継続実施 ②妊婦教室、2歳児歯科健診、1歳児相談に参加した保護者に対して口腔内細菌観察の継続実施 ③がん検診、特定健診結果説明時で歯周病についてのチラシ配布 ④小学校における歯科保健教育の推進と支援、噛ミン30(カミングサンマル)運動の啓発の実施 ⑤幼児健診、はみがき教室時にむし歯のリスクが高い児に対して管理栄養士と連携した歯科保健指導、個別栄養指導の実施		
		・60歳で24歯以上の歯を有する人の割合の増加	69.7%							—	90%以上
		・40歳で喪失歯のない人の割合の増加	89.7%								
		②歯周病を有する人の割合の減少		H23年度	54.6%	H26年度	25%	H34年度			
		・20歳代における歯肉に炎症所見を有する人の割合の減少	42.7%							—	25%
		・40歳代における進行した歯周炎を有する人の割合の減少	32.6%							46.3%	45%以下
③幼児・学齢期のむし歯のない子の増加			H23年度	87.1%	H26年度	90%以上	H34年度				
・3歳児でむし歯のない子の割合の増加	88.9%	0.36歯						0.5歯以下			
・12歳児の一人平均むし歯数の減少	0.65歯										
のこころの健康	①自殺者数の減少 (人口10万人当たり)	19.8	H22年	18.9	H25年	減少	H34年	①自殺に関する知識の普及啓発 ・窓口担当者会議の実施 ・こころの健康についての講話、イベント等での普及啓発を実施			
健康づくりに取り組む関係団体との連携の強化	連と団市の携の体民	①健康推進員活動	実施		実施		実施継続	H34年度	①地域住民と共に健康づくり活動の実施 ②地域への健康情報の回覧、集会所の受動喫煙防止対策を実施		
	との係機携	①連絡会議の開催	実施	H23年度	実施	H26年度	実施継続		①健康づくり推進協議会、食育推進会議、CKD及び糖尿病予防連絡会議の開催 ②地域職域連携実務者会議は保健所主催で実施		
	報健の康提情	①健康情報の提供	実施		実施		実施継続		①市ホームページ上に健康づくりのページ「健康なび」を作成 イベント情報など掲載 ②健康づくり取り組み隊の募集・市ホームページで情報提供		